

# 誠光水道新聞

## 5 月 10 日号

発行元 有限会社誠光設備工業  
〒663-8003 電話 0798-53-5786  
兵庫県西宮市上大路 4-8-18  
編集長 藤田 勉

最近ずっとセイコー新聞の発行がおくれておりますが、なんせ誰も手  
伝ってくれませんのでどうかお許し下さい。

今月は少々売り込みをさせて頂こうと思っておりますのでみなさま覚  
悟のご用意をお願いいたします。

「水道屋が売り込みしたところで、所詮水道と下水を配管したら終わ  
りやないかい！ うちが安かったらええんや。」

実はそうなんです。

「やっぱり、そやる。わしが何年不動産やっとなる思とんねん。」

そうなんです。社長のおっしゃる通り水道工事の良し悪しの程度など  
比べるほどのものでもないのです。

「じゃあ何を売り込むねん。安してくれるんやろなあ。」

水道工事の良し悪しはほとんど何処の業者でも変わらない。じゃあ安  
いところが良い。やっぱりそれが正解なのです。

でもちょっと待って下さい。

現場が10か所あれば8か所はそれで大丈夫なのです。

「残りの2か所はどうなんねん。」

その残り2か所の為に別の8か所もセイコーに頼んで欲しいのです。

なぜかといいますと、通常通りにうまくいく8現場と2つの現場の違  
いは竣工してみないと分からない事が多いのです。水道工事の業者が引  
込工事の見積りをして、工事を完成させ引き渡した後になっても問題は  
まだ起こっておりません。これでは事業主である皆さんが事件に気付ける  
はずありません

事件が起こるのは建築工事が始まった直後や、竣工間近になってから  
なのです。

それでは、どんな事件が現場で起こっているのか、造成工事終了後の現  
場にご招待いたします。

まず一番多いのは敷地がひな壇の形状になっており、下が駐車場、そ  
して上に建物を建てる場合である。

造成業者の場合、トラフ(U字型側溝)を使った雨水管や雨水樹はひな  
壇上にも設置して前面道路境界の側溝につないでおります(これは自社  
の完了検査上必要だからである。)しかし、水道管や汚水管については敷  
地内に汚水樹及び止水栓を設置しただけで終わってしまう。引込業者と

してはこれでお役御免である。当然である（確かに見積もりの内容もその通りだ）

そのあと現場ではいよいよ建築工事が始まる。新しい現場は監督も当然気合いが入る。まず、基礎の施工にかかる前に内部の水道屋に逃げ配管の連絡を取る事になる。ここまではいたって順調だ。

（水道屋）

「これ、水道何処通すの？」

（監督）

「えっどこ通す？」 「うわっ、どうしよう」

「でも、おれ見たときもう階段出来てたしなあ」

「階段ハツって通すしかないよなあ」

（水道屋）

「お金出るんすか。」

（監督）

「また何処かの現場で埋め合わせするわ」

といかにも無責任な会話が始まり、皆さんにもどこかでしわ寄せがやってくるのだ。そして気合いの乗っていた監督のテンションは早くも下がりますのである。

それではセイコーならどうなっていくのかという例を次に挙げてみる。

（セイコー）

「これ、社長のところで建物まで建てて売るんですか？」

（事業主）

「そうや、建築は〇〇工務店やから引込時期なんかは△△さんと打ち合わせしといて」

「わかりました」

（セイコー）

「△△さんですか？わたし□□現場で水道工事頼まれてるんですけど、引込工事の都合の悪い施工時期ってありますか？そういえば造成屋さんが来週から階段作るって言ってたけど、中の水道屋さんに伝えて階段下か、擁壁の下、水道と下水を通しておかないと後で困りますよ」

「そやな、わかった」

実はこれでおしまいである。

セイコーは内部業者出身だから気づくのだが、ふつうは自分の仕事で頭がいっぱいである。誰が悪いわけでも、誰かが不親切な仕事をしているわけではないのだ。引込業者や造成業者は住宅の建築中や建築後をしっ

くり見る機会などほとんどないので気づけというのが酷ではないだろうか。

セイコーは内部工事を請け負っている時、こういった辛い思いをずっとしてきたから現場を見るだけで「今、これやってたら榮やで」とか「これ、後によつたらしんどいやろな」という事によく気がつくのである。

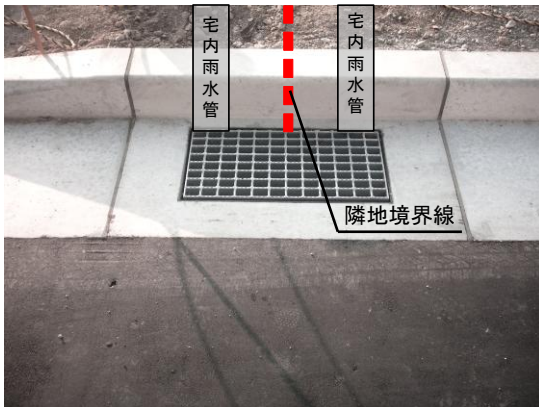
次にこんな例もある

位置指定道路を築造して外周にL型側溝を整備する場合だ。

位置指定道路のみを間口に持つ住宅の雨水配管は通常、位置指定道路に整備されたL型側溝の開所部分に接続する。

わたしの知っている宅地造成を行う業者は、左の図のように各境界ま  
たぎに会所を設置してできるだけ少なく、かつ確実に1住宅間口に1箇  
所の接続会所を設置している。もちろん  
事業主や設計事務所の担当者に提案を  
し、許可を頂いてからである。

では、何も気を使わず、設計事務所の  
書いた図面通りに側溝を築造するとい  
うなるのだろうか？もちろん図面通り  
の施工なので業者には何の瑕疵もない。  
市の施工基準もパスしますので検査も合  
格。造成業者は無事、引き渡しを完了  
させ次の現場に取り掛かります。



しかし設計図面上すべての敷地の間口に接続会所がない場合はどう  
だろうか。(実はこれがたくさん現場で発生している)

雨水管工事の最終接続は住宅の建築が終了して外構工事の時に施工  
する場合がほとんどである。

家がもうすぐ引き渡しという段階まで進み、これからコンクリートに  
まかれた雨水管を取り出す作業は大変である。1箇所につき、それだけ  
の為になんと2時間以上のハツリ工事が続くのだ。(実はこの工事ですが  
内部業者のもっとも嫌いな作業の一つなのである)なぜかって？側溝の下に  
隠れ、しかもコンクリートにまかれたビニール管を取り出す作業は腰が痛  
いし見えない作業になるのでとても疲れるからだ。

以上は簡単な例だが理解していただけたらだろうか？

けっして、セイコーが住宅建築に精通しているわけではない。

ただ水道屋くらい最初から最後まで現場に従事している業者はいない  
ということなのだ。工務店さんより、早い段階で現場を見ているし、建物  
の検査が終わってから水道や下水の完了検査もある。そしてエンドさん相  
手に名義変更まで行うのだ。

今現在、西宮市の水道工事指定店は450社を超えております。

その中で宅内工事を年間50棟以上のペースで完了させ300棟以上の実績を積み、かつ年間100棟以上の上下水道引込工事を事業主から直接受注しているのはおそらくセイコーだけである。

上下水道工事を施工できる業者で内部の工事、申請を自社スタッフだけでこなしている業者をわたしは聞いたことがございません。

セイコーにしかできない提案が必ずどこかで出てきます。

長ったらしく書いたけど

「仕入れたら一回電話ちょうだい」 それだけです。

それではみなさん今月もよいお取引きを…。

## ご紹介キャンペーン

お知り合いで神戸市での事業をされている方をご紹介ください。

神戸市はまだまだ工事代金の基準が高い傾向にあります(セイコーの周りだけかな)

とにかく神戸のお仕事を紹介いただいたお客様に契約代金の5%をお礼いたします。  
(上限5万円)

《連載小説》

## 華麗なる水道屋

第十回

鉄平は、ミナミでこのままずっと水商売を続けていくんだらうなあと感じ始めていた。

鉄平の店ベティは満席で50人ほどの客が入る。当時の客は興銀、幸福銀行、〇〇管財と今はなき企業ばかりである。特に興銀の飲み方はすごかったように思う。とにかく女の子に目一杯飲ますのである。興銀のボックスに付いた女の子は例にもれず全員フラフラになる。

酔っている女はほんとだらしない。客と一緒に飲んでるので楽しいのだが、しらふのこっちは本当にムカツク事ばかりなのだ。

「店長もこっち来て飲みいやあ」

マユミが絡んでくる。マユミとは2度ほどヤッテいる。酔っているのをいいことに妙になれなれしい態度でひっついてくるのである。みなさんも経験があると思うが酔っている女にベタベタされると本当にムカツクものである。すると一人の客が

「お前らヤッテンちゃうんか」やっぱり絡んできた。

「何ゆってるんですか。そんなことある訳ないやないですか」

鉄平も客に店の子とヤッてるのがバレると仕事もしにくくなるし、ましてやほかの女の子に何言われるかもわからない。

「店長、電話です。」

《続く》